2022 年度　　授業概要

科目名	生体機能代行装置学実習Ⅲ（代謝）				授業の種類	実習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年時期	2年 後期

【授業の目的・ねらい】
血液浄化療法に用いられる機器、水処理装置の操作方法や点検方法を学ぶだけでなく、医療現場で必要な知識・技術・心構え等を、実習を通して身につけることを目的とする。

【実務者経験】
高砂西部病院で臨床工学技士として勤務。呼吸、循環、代謝、ME管理と広く経験している。

【授業全体の内容の概要】
医療現場で必要な知識や技術を身につけることを目的として実習を行う。毎回の授業で学んだことについて、実習内容をレポートにまとめ、理解を深める。

【授業終了時の達成課題（到達目標）】
・血液浄化療法の基礎的な知識・技術を身につける。
・トラブル時などに対応できる応用力・考え方を身につける。

回数	講義内容	準備物(教材)
1	落差プライミング	
2	ポンプを使用したプライミング	
3	透析条件の設定について	
4	透析液・透析液の補正について	
5	機器の構造について	
6	機器の保守点検について	
7	水質管理方法について	
8	シャント穿刺について	
9	感染対策について	
10	災害対策について	
11	トラブルシューティング	
12	トラブルシューティング	
13	ケーススタディ	
14	ケーススタディ	
15	ケーススタディ	
	定期筆記試験	

【使用教科書・教材・参考書】
・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置 第2版、竹澤真吾 ほか、医歯薬出版株式会社

【準備学習・時間外学習】
・準備学習として当該範囲の予習をして授業に臨むこと
・講義後は板書と教科書の要点をまとめる作業を行うこと

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】
試験の結果を100点満点で成績を評価する
実技試験を40点、定期試験を60点として合計100点とする
60点以上の場合に科目を認定する